

キャンパス散策（金城学院大学）

歴史・沿革



金城学院大学

金城学院は、1889年アメリカ人宣教師アニー・ランドルフが私邸の中に設立した「私立金城女学校」をルーツとします。1949年、金城学院女子専門学校を基盤に、プロテスタント・キリスト教の精神に基づく女性のための高等教育機関として金城学院大学は設立されました。単科(英文学部英文学科)から始まった本学も、時代の要請に応えるかたちで、次第に教育の幅や奥行きを広げ、2005年には本学初の理系学部となる薬学部が開設されるなど、今日では東海地区唯一の女子総合大学となり、2009年度には学院創立120周年大学設立60周年を迎えました。

金城学院大学は聖書の教えに基づいて、豊かな人間性と深い専門的学識をバランスよく兼ね備えた女性を社会に送り出すことを目的としています。そして21世紀社会の「地の塩」「世の光」となってくれることを、本学の祈りとし、「主を畏れることは知恵の初め」（箴言1章7節）をスクールモットーに掲げています。金城学院大学は、「強く、優しく。」を教育スローガンに、主体性を持ってものごとを成し遂げ、学んだ広い知識を人生の場で活かせる「強さ」と、まわりの人々の気持ちを理解し、思いやる「優しさ」を兼ね備えた、明日の社会に貢献できる女性を養成します。



創立者アニー・ランドルフ

金城学院大学の校章

紅の十字形の中央に白百合という金城学院大学の校章は、1920年に制定されました。宗教的には十字架はキリストの贖罪を、白百合にはその復活を象徴しています。道徳的な意味としては、紅の十字架は誠実または犠牲、奉仕を、白百合は純潔の徳をあらわしています。

金城学院大学とキリスト教

金城学院大学の朝は礼拝から始まります。こころを鎮め、神様と向き合うことによって、落ち着いた気持ちで勉学に励みます。今年度末には120周年記念整備事業として、

学内に聖書に登場する植物を集めた「聖書の庭」が開設予定。学生の憩いの場となることが期待されます。また、キリストの降誕をお祝いするクリスマスには、学内にツリーが灯り、大学のシンボルでもあるランドルフ記念講堂において、「クリスマス礼拝」が行われます。

学部学科とキャンパス

当初英文学部英文学科のみで開学した金城学院大学も、現在では文学部、生活環境学部、現代文化学部、人間科学部、薬学部の5学部13学科、大学院として、文学研究科及び人間生活学研究科の2研究科6専攻を有します。

キャンパスは、名古屋市守山区の丘陵地にあり自然あふれる落ち着いた環境のなか、5,241名の学生たちが学生生活を送っています。本学キャンパスの東部には、東海地方特有の湿原（八竜湿地）が広がっており、貴重な植物が自生しています。本学は、ここ大森の地にキャンパスを開設して以来、自然との共生に注意を払いながら、キャンパス整備を進めてきました。本学は、この恵まれた自然を通して、学生が環境問題に関心を持てるような取り組みを始めています。教職員と学生による「金城里山コンサベーション（KSC）」では、敷地内で伐採した竹を、学内に設置された炭焼き窯で、炭焼きを行ったり、キャンパスの自然を紹介するWEBサイトを制作したり、学生はさまざまな活動を通して、多くのことを学びます。

金城学院大学のキャリア形成支援

金城学院大学のキャリア形成支援は正課授業科目「キャリア開発教育科目」を中心に行われます。1年次に開講される「キャリア開発A」は全学生が必修。この授業では、人生設計の重要性、大学生に求められるスキル、自己分析、ドリームマップの作成、女性の生き方、大学生の就職実態、卒業後の人生デザイン、キャンパスライフ



クリスマス礼拝



キリスト教センター



豊かな自然に囲まれたキャンパス

のデザインなどについて、講義と体験的学習の両面からアプローチし、自律的なキャリア開発を支援します。そして2年次後期よりインターンシップの準備を行い、3年次前期には多くの学生がインターンシップを体験します。

学生ラウンジの一角にあるキャリエール（キャリア相談コーナー）は、進路や就職に関わる不安や悩みを解消するために資格を持ったキャリアカウンセラーによる個別カウンセリングを受けることができます。また、ここで相談にあたるカウンセラーたちは本学の卒業生でもあります。キャリエールの名称は、フランス語でキャリアを意味するキャリエールに由来します。加えて、「キャリア」に「エールを贈る」という前向きな語感から、キャリア相談コーナーにふさわしい愛称として命名されました。

また、2009年12月には、名古屋の中心地栄に金城学院大学サテライトを開設。就職活動中の学生の活動拠点として活用されています。この大学サテライトには、キャリア支援スタッフが待機しており、就職活動中の学生の支援にあたります。

金城学院大学の国際交流

金城学院大学は、現在9カ国22大学と協定・提携を結び、留学や海外語学研修を行っています。また学生による国際交流サークル「KING」が主体となって実施するランチタイムギャザリングでは、多くの学生と留学生が、言語の壁を越えた交流を行っています。



キャリエール



サテライト



ランチタイムギャザリング